

第3回地域連携病院医師対象 エコーハンズオンセミナー（腹部編）報告

3月4日(日)に地域連携病院医師を対象とした腹部エコーのハンズオンセミナーを開催しました。このハンズオンセミナーは、エコー検査の普及による地域医療の質の向上を目的としており、「気軽にエコー検査を学べる場」をコンセプトに、当院臨床検査科の技師が企画、運営を行っています。

ミニレクチャーでは、「脾臓にまつわるエコーの話」の講義を行いました。開業医での脾臓スクリーニングの有用性などについて講義を行いました。



(ミニレクチャーの風景)

ハンズオンでは脾臓の描出の仕方やプローブの走査方法などをレクチャーしました。脾臓は消化管ガスの影響で見えにくい臓器ですが、私たち臨床検査技師が描出のコツを解説し、受講者全員が脾臓を描出できるようになりました。



(ハンズオンの風景)

腹部エコー以外にも頸動脈エコーや甲状腺エコーなどのレクチャーの要望もあり、時間が許す限り講習を行いました。また、今回は研修医5名の参加もあり、会場は盛り上がりました。皆さん勉強熱心でした！！



(ハンズオンの風景)

本セミナーはこれで3回目となりましたが、参加者数は安定して維持しており、また複数回参加されているDrもおられました。今後とも継続し、微力ながら地域医療に貢献していければと思っております。

参加者のアンケートでは、腹部エコー以外のエコーハンズオンの要望も多くいただいております。次回は要望が多かった心エコーハンズオンセミナーを検討しています。

臨床検査科 戸島 望